

株式の状況 (2024年3月31日現在)

株式の状況

発行済株式総数	53,090千株
株主数	11,551人

大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,112	8.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,835	3.91
日本生命保険相互会社	1,610	3.43
明治安田生命保険相互会社	1,599	3.40
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,277	2.72
損害保険ジャパン株式会社	1,180	2.51
滋賀銀行従業員持株会	1,167	2.48
京都中央信用金庫	1,000	2.13
JP MORGAN CHASE BANK 385781	646	1.37
CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	609	1.29
計	15,039	32.04

※当行は自己株式6,159千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は11.60%)を所有しておりますが、上記大株主の状況には記載しておりません。
※持株比率は発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合です。

株式のご案内

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

公告方法

電子公告により当行ホームページ(<https://www.shigagin.com/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

100株

滋賀銀行データ (2024年3月31日現在)

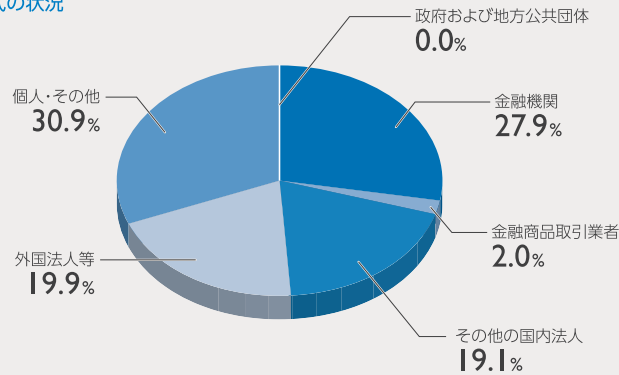
名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	1933年10月1日
総資産	7兆9,441億円
預金残高 ^(※)	5兆8,466億円(譲渡性預金含む)
貸出金残高 ^(※)	4兆4,951億円
資本金	330億円
従業員	1,875人
店舗数	133カ店(うち代理店33カ店)

※期末残高を記載しています。

株式の所有者別状況

※単元未満株式は含まれておりません。

●株式の状況



株主還元方針

当行は「『三方よし』で地域を幸せにする」のパーパスのもと、健全性、成長投資、株主還元をバランスよく運営する「三方よし」の資本政策をベースに、出来る限りの株主還元を行うことを基本方針としております。第8次中期経営計画期間(5年間:2024年4月~2029年3月)の株主還元につきましては、配当と自己株式取得合計の株主還元率40%を目安に取り組んでまいります。

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先/各種お問い合わせ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

- 各種事務に関するご照会 電話0120-094-777(通話料無料)
(受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く))
- ホームページアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
三菱UFJ信託銀行の本店でもお取り扱いいたします。

株式に関する各種手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行)へお申し出ください。未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

連結子会社

会社名	主な事業内容
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務計算受託業務、事務代行業務、不動産管理業務、現金精査・整理、ATM管理業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務、有料職業紹介事業
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社	リース・投資業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
株式会社しがぎんジェーシービー	クレジットカード業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務

※2024年4月1日付で株式会社しがぎんエナジー(当行100%出資子会社)を設立いたしました。

「三方よし」で地域を幸せにする
Sustainability Design Company

SHIGA BANK

第137期

事業のご報告

2023年4月 1日~2024年3月31日



滋賀銀行

<https://www.shigagin.com>

発行/2024年6月 編集/滋賀銀行 総合企画部サステナブル戦略室 広報グループ 電話/077(521)2202



当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。



LINE



Facebook

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

今春、日本銀行が大規模な金融緩和策を終えて17年ぶりの利上げに踏み切り、日本経済は大きな転換点を迎えました。「金利のある世界」が見え始める中、当行は地域経済の安定的な発展に努めるとともに、付加価値の高いコンサルティングの提供などで企業価値の向上を図っております。

さて、2024年3月期の業績は、当期純利益(連結)は前期比10億円増の159億円となりました。また、預金残高(譲渡性預金を含む期中平均残高)は813億円増の5兆7,608億円、貸出金残高(期中平均残高)は1,734億円増の4兆4,018億円となりました。

当行は「『三方よし』で地域を幸せにする」をパーパス(存在意義)として制定しました。同時にスタートした第8次中期経営計画(2024年4月~2029年3月)では、収益の多様化やデータドリブン経営の実践で経営基盤を強化し、「挑戦」と「称賛」の企業文化を醸成して人的資本の最大化に努めます。そして、新規事業へのチャレンジや社会的課題の解決を通じてお客さまや地域の発展をデザインし、「地域を幸せにする好循環」を生み出してまいります。

皆さまにはこれからも、より一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2024年6月



取締役頭取

久保田真也

滋賀銀行グループの理念



TOPICS

TOPICS①

滋賀銀行グループのパーパスを制定

4月1日、滋賀銀行グループのパーパスを制定しました。
 パーパスとは、企業の存在意義であり、企業が事業を行う根拠や原点となるもので、私たちのパーパスは「『三方よし』で地域を幸せにする」ことです。当行には、近江商人から受け継いだ「三方よし」の精神が深く根付いています。地域とともに歩む企業として、「三方よし」で誰もが幸せに暮らせる社会を実現する、という思いを込めました。
 なお、このパーパスは、未来に向けて役職員が心をついに歩み続けるために、第8次中期経営計画策定プロジェクトに携わったさまざまな世代や立場のメンバーが話し合いを重ねる中で導き出したものです。



TOPICS②

第8次中期経営計画を始動

4月1日、今後5年間を計画期間とする第8次中期経営計画を始動しました。
 地域や当行グループをとりまく環境が大きな転換期を迎えるなか、長期戦略で掲げている実現したい地域社会の姿「自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会」からバックカスティングで策定しています。
 お客さま・地域の持続可能な成長をデザインする「インパクトデザイン」、経営基盤の強化に取り組む「ベースforグロース」、人的資本の

最大化を進める「ヒューマンファースト」の3つの基本戦略を中心に、お客さまや地域社会の課題解決につなげ、「地域を幸せにする好循環」を生み出していきます。



TOPICS③

第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパンで「銀賞（環境大臣賞）」を受賞

環境省が主催する「第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門において、「銀賞（環境大臣賞）」を受賞しました。2020年に開催された第1回から5年連続の受賞です。
 選考では、新商品「スーパー住宅ローン 未来よし」の取り扱いにより地域の工務店等へ好影響を生み出し、地域における個人分野での脱炭素化の進展に寄与している点、中小企業向けのファイナンス・フレームワーク作成やCO₂排出量算出・管理サービスの開発など、新規性のある取り組みを打ち出しつつ、従来の取り組みも高いレベルで維持している点を評価いただきました。



伊藤環境大臣(右)から表彰いただきました。



第7次中期経営計画 [達成状況]

挑戦指標	2024年3月計画	2024年3月実績
Sustainable Development 推進投資	(新規投資額累計) 7,000億円	8,989億円
地域顧客の価値向上サポート (コンサルティング相談件数)	年間2,000件	2,070件
地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高[投資信託+金融商品仲介])	3,000億円	2,525億円
温室効果ガス排出量削減(%) (2013年度比較の削減率)	50%削減	66.80%削減* (2023年3月実績)
SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動 次世代人材の育成活動	(研修等の実施人数累計) 15,000人	21,943人
親会社株主に帰属する当期純利益(連結)	最終年度 100億円以上	159億円
顧客向けサービス業務利益	30億円	48億円

*2024年3月末実績については、開示情報の透明性確保に向けて第三者検証を受ける予定です。検証を受けた後、当行ホームページで公表いたします。

長期的挑戦指標	長期的指標	2024年3月実績
ROE(連結)	5%以上	3.42%
OHR(次世代基幹系システム関連費用除く)	65%未満	82.76% (64.19%)

第8次中期経営計画 [達成指標]

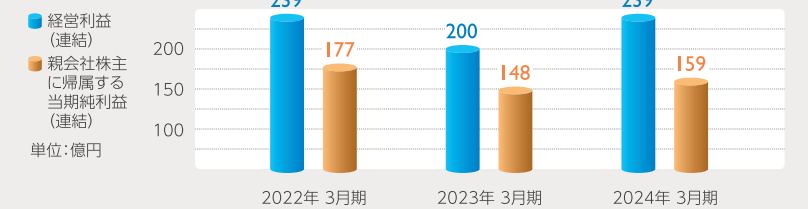
達成指標	2029年3月計画
サステナビリティ達成指標	地域の成長を支える投資総額 (期間累計) 1兆2,000億円
	お客様の夢や事業をサポートする件数 (期間累計) 30,000件
	地域や社会の持続可能性を高めるサステナブルファイナンス実行額 (期間累計) 7,000億円
	稼ぐ力の向上に向けた新たなファイナンス手法による投資総額 7,500億円
	お客さま価値の創造と当行グループの業務変革につなげるDXへの取り組み 定性評価
	カーボンニュートラル社会の実現に向けたGHG排出量削減(Scope1、2) ネットゼロの達成
ヒューマンファースト	人的資本最大化のための従業員エンゲージメント向上(肯定的割合) 持続的向上
	価値創造の主役として、地域の未来へ挑戦できる人材を育成するための投資額 2023年度対比倍増(従業員一人当たり30万円/年)
財務指標	ROE(連結) 5%以上
	長期的挑戦指標 ROE(連結) 8%以上

業績ハイライト

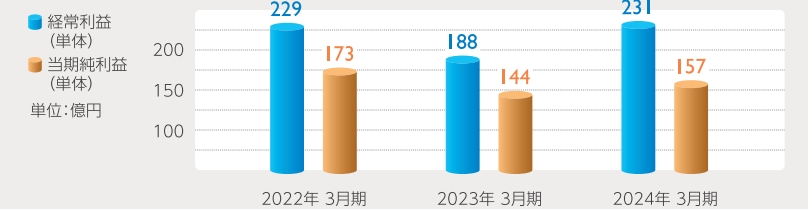
業績ハイライト(単体)

- 貸出金利息、有価証券利息配当金が増加したことにより、資金利益は前期比61億円増加しました。
- 役員取引等利益が前期比15億円増加、その他業務利益も同86億円増加し、業務粗利益は同163億円の増益となりました。一方、経費は前期比67億円増加し、実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は同96億円の増益となりました。
- 株式等関係損益は前期比45億円の減少、与信コストは前期比10億円の増加となりました。
- これらの結果、当期純利益は前期比13億円増益の157億円となりました。

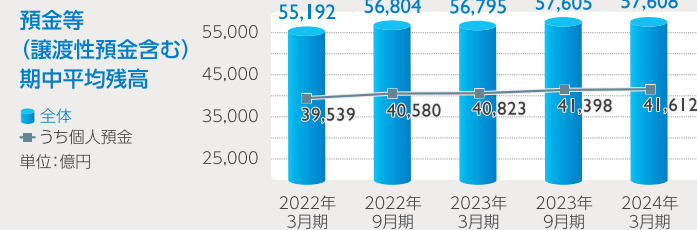
経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益(連結)



経常利益・当期純利益(単体)

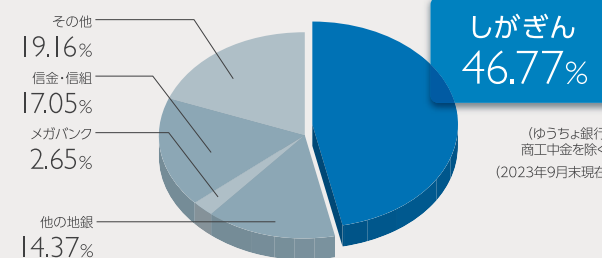


預金等

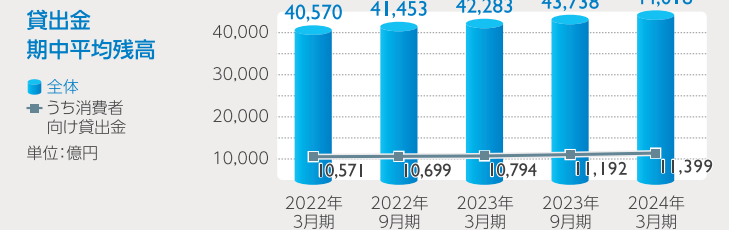


預金残高「滋賀県内シェア」

*小数点第3位以下四捨五入



貸出金



貸出金残高「滋賀県内シェア」

*小数点第3位以下四捨五入

